

2025 年度特定非営利活動法人ラヂオきしわだ定時社員総会 議事録

- 1 日時 令和 8 年 5 月 25 日（月） 11 時半～12 時半
- 2 場所 当法人事務所（岸和田市野田町 1-6-19 栄光ビル 2 階）
- 3 出席者数 社員 12 名中 9 名（書面決議書出席 2 名を含む）（五十音別、敬称略）
出席者 石橋英一 梶野昭太郎 片山陽子 北野忠夫 木村和子 長谷川秀美
山田剛
書面決議出席者 奥利隆 河野晃
欠席者 八木雄一郎 八木恵 山本宏明

一号議案 議事録署名人の選出

二号議案 2025 年度活動報告

三号議案 2025 年度決算報告及び監査報告

四号議案 2026 年度事業計画

五号議案 2026 年度予算計画

議事に先立ち、石橋理事長が本社員総会は書面での表決を含め 12 名の内 9 名の出席を得ているので、有効に成立している旨説明。次いで定款第 25 条により石橋理事長を議長に選出。以後石橋理事長のもと議事が進行された。

一号議案 議事録署名人の選出

定款第 29 条 2 号の定めに従い、議事録署名人に山田剛と片山陽子の 2 名を選出した。

二号議案 2025 年度活動報告

石橋理事長より配布資料に基づき、まず月曜日から金曜日、朝 9 時から 11 時まで「おはようラヂオきしわだ」を、土曜日と日曜日の 10 時台には「Happy Morning Kishiwada」を放送した事を説明し、その他、配布資料に従い次のように活動報告あった。

4 月より CM 料金の値上げを実施したこと、ボランティアスタッフの増員ができ、運営力の強化と共に負荷の多いメンバーの負荷改善が可能になったことなど。また APS のシステムを入れ替えを実施するため発注し（2 月）資金の一部を（株）日本政策金融公庫からの借入（3,500 千円）とすることを決定した。防災・減災等の問題では引き続き寄岸和田市に要請することなど今後も取り組み、テレビ岸和田との協定書案も引き続き取り組む。例年通り 9 月祭礼、10 月祭礼は特別番組を実施した。クラウドファンディングの基金で災害弱者への FM 自動起動ラジオの配布をした。また 3 回目のクラウドファンディングの募金を実施した（2 月～3 月）。岸和田市議会定例会（年 4 回）臨時会の模様を録音し、翌日深夜に放送した。イベント事業は（株）イベントレインと協力し、「夏休み子どもパーソナリティ

体験」を実施、また祭礼と合わせ「秋のラヂオきしわだ祭 2025」を実施した。近畿総合通信局へコミュニティ放送局の再免許を申請し（7 月）、免許の交付を受けた（10 月）。羽衣国際大学から夏季 2 名のインターシップ実習生を受け入れ、また A' 創造館より就労体験者を 1 名受け入れた。最後に認定特定非営利活動法人の必須条件である、100 名以上の寄附者があったことを報告した。

以上の説明、報告に対し、書面決議出席の 2 名を含め出席者全員の承認を得た。

三号議案 2025 年度決算報告及び監査報告

片山副理事長より 2024 年度も最終的に単期で黒字（2,242 千円）を計上することができたことを報告し、配布資料（活動計算書、財産目録、貸借対照表）に基づき以下のようにまず活動計算書から報告をした。

経常収益のうち、寄附金は先期に比べ増え、先期比べ約 900 千円増のほぼ 4,390 千円、寄附者の人数も認定 NPO 法人の必須である 100 人以上を達成しているが、事業収益では CM 料の値上げをしたが、この期に CM の撤退をした企業等があり、減収 1,000 千円で 5,780 千円、トータルでは先期とほぼ同じ（10,790 千円）となったことを説明する。

経常費用については、ここ 3～4 年事業費、管理費トータルで 1,200 千円くらいで、勘定科目別で増減があるものの中身の説明をし、全体でほぼ同じ金額になっている事を説明した。

次に貸借対照表の移り、流動資産で手持ち資金額の紹介と、前払い金は APS システムの新しく導入するものの前払金であることを説明する。また今期は固定資産の取得は無かった事を説明した。

これらの決算報告に関して、監事の奥利隆氏より「監査の結果、会計処理は NPO 法人会計基準及び一般に公正妥当と認められる会計の方法によって適正にされているものと認められ、その計算書類が 2026 年 3 月 31 日における財産の状況を適正に表示しているものと認めました。」との 5 月 20 日付けの監査報告が出ていることを報告した。

以上の 2025 年度決算報告及び監査報告について書面決議出席の 2 名を含め出席者全員の承認を得た。

四号議案 2026 年度事業計画

石橋理事長より配布資料に基づき以下のように説明した。

①例年とおおり月曜日から金曜日、朝 9 時から 11 時まで「おはようラヂオきしわだ」を、土曜日と日曜日の 10 時台には「Happy Morning Kishiwada」を放送するを説明し、その他、次のように 2026 年度の活動計画の説明があった。

②2026 年はラヂオきしわだ開局 15 周年になり記念イベントを 5 月 10 日に行う。

（カンカンベイサイドモールでライブ、C スタジオ前で観客参加のクイズ大会を実施した）

③スポンサーの新規獲得を図る。

- ④引き続きボランティアスタッフ、アルバイトスタッフなどの増員を図り、負荷の多いメンバーの負荷軽減を図る。
 - ⑤岸和田市との防災協定の内容を変更を申し入れるをする。テレビ岸和田との協定案を文書化したものをもらう。岸和田市からのスマートフォンへの防災アラームを音声に変更し放送する。
 - ⑥九月祭礼、十月祭礼は特別番組を実施する。
 - ⑦ふるさと納税型クラウドファンディングで災害弱者への FM 自動起動ラジオを配布する事業を引き続き行う。7月の市の広報で発表ある予定。
 - ⑧APSシステムの機材の入れ替え、更新をする（7月）
 - ⑨ホームページ内の番組、パーソナリティ、スポンサー紹介等の充実させることにより、ホームページの魅力アップを図る。5月10日をめどに。
 - ⑩岸和田市議会定例会議（年4回）、臨時会の模様を収録し、翌日深夜に放送する。
 - ⑪岸和田市議会の協力で「子ども議会」を市会議室で実施、収録放送する。
- 8月2日に予定している。
- ⑫羽衣国際大学から2～3名の「インターンシップ実習生」を受け入れる。また就労支援事業に引き続き協力する。
 - ⑬放送局内で災害放送準備委員会を立ち上げる。災害放送の計画を見直す。
 - ⑭屋上の看板をリメイクする。
- これらの説明を受け2026年度の事業計画案は書面決議書出席者を含め出席社全員より承認された。

五号議案 2026年度予算計画

片山副理事長事長より配布資料に基づき2025年度の予算計画について以下の説明があった。

寄附金のついては昨年度はCM料金の値上げに伴い寄附金についてもご協力を頂き増額となったが、2026年度は2025年度と比べ微増程度（4,500千円）と考えている。またラジオ事業収益については2025年度では広告出稿を見送ったところに代わる広告主の開拓などに注力して先期との比較で10%強のアップ（6,500千円）と見込んでいることを説明する。新たな時報広告やキャンペーン広告の獲得が求められると追加説明をした。イベント事業収益、雑収益などを加え全体として11,750千円の規模を考えている事を説明する。

経費については、事業費のほとんどの科目についてほぼ2025年度の微増の金額であるが、電波調査料などで業務委託料は増額（1,300千円）。新しいAPSシステム、看板の固定資産獲得についての減価償却費は大きく増額としている（1,900千円）。管理費も前年度並の金額で経費トータルで1,130千円となり、また15周年のイベント費用も計上（400千円で、2026年度単期では440千円の少額だが黒字の予算を立てていることを説明した。

以上の説明を受け、2026年度の予算計画は書面決議書出席者を含め出席者全員の承認を

得た。

この議事録が正確であることを証します。

令和 8 年 5 月 25 日

議 長 石橋 英一

議事録署名人 山田 剛

議事録署名人 片山 陽子